タイトル

―副題（任意）―

著者　氏名

【要旨】本稿は，『京都大学言語学研究』（KULR）に投稿するための和文原稿のテンプレートであるとともに，原稿の諸様式について記述したものです。MS-Wordを使用して日本語論文等を執筆する場合は，このテンプレートファイルを利用してください[[1]](#footnote-1)\*。

【キーワード】京都大学言語学研究，MS-Word，和文テンプレート，執筆様式

**1**　はじめに

以下では，Microsoft Wordを使用して『京都大学言語学研究』（KULR）の和文原稿を執筆する場合の諸様式についての規定と，本テンプレートの使用法について述べます[[2]](#footnote-2)。

**2**　ページレイアウト

本節で述べる設定はこのテンプレートでは設定済みです。読み飛ばしてかまいません。いずれも［ページ設定］ダイアログボックスで行う設定です。

**2.1**　用紙サイズ

［用紙］タブで［A4］（210 mm x 297 mm）を選択します。

**2.2**　マージン

［余白］タブの［上］［下］［左］［右］の各欄にそれぞれ［30 mm］［35 mm］［30 mm］［30 mm］を入力します。

**2.3**　**1**行あたりの文字数と**1**頁あたりの行数

［文字数と行数］タブで［文字数と行数を指定する］にチェックを入れ，［文字数］を［38］字[[3]](#footnote-3)，［行数］を［34］行に設定します[[4]](#footnote-4)。

**3**　本文のスタイル

各スタイルが用意されていますので，基本的にはそのスタイルを使用してください。ただし，部分的に手作業で変更する部分もありますので注意してください。

**3.1**　本文

本文には［標準**KULR**］スタイルを適用してください。これは，［日本語用のフォント］を［MS 明朝］，［英数字用のフォント］を［Times New Roman］，［サイズ］を［11 pt］に設定するものです[[5]](#footnote-5)。

ただし，各段落頭の字下げ（1字）は手動で行う必要があります。

**3.2**　タイトル・要旨部分

**3.2.1**　全体の構成

1ページ目のはじめに本文フォントと同じサイズで2行の空白行を入れ，次の行に論文等のタイトル（表題）を記入します。副題がある場合は，次行に副題を記入します。1行空けて著者氏名を記入します[[6]](#footnote-6)。研究論文・研究ノート・書評論文の場合は，再び1行空けて要旨を記入し，空白行を挟まず次行にキーワードを記入します。その下を2行空けて本文部分を始めます。書評の場合は要旨・キーワードは不要で，著者名の下を2行空けて本文部分を始めてください。

**3.2.2**　表題

表題部分には論文その他のタイトル（正題）を記入します。1行に収まりきらない場合には，きりのいいところで改行してかまいません。

この部分には［表題**KULR**］スタイルを適用してください。これは，［日本語用のフォント］を［HG明朝E］，［英数字用のフォント］を［Times New Roman］，［サイズ］を［16 pt］にし，また，その段落の［配置］を［中央揃え］，［行間］を［固定値］［26 pt］に設定するものです。

タイトルに英数字が含まれる場合，手動でその部分の［スタイル］を［太字］にする必要があります。

**3.2.3**　副題

タイトルに副題が必要な場合のみ，記入します。両側を全角ダッシュ（―）で括ります。

この部分には［副題**KULR**］スタイルを適用してください。これは，［日本語用のフォント］を［HG明朝E］，［英数字用のフォント］を［Times New Roman］，［サイズ］を［13 pt］にし，また，その段落の［配置］を［中央揃え］，［行間］を［固定値］［20 pt］に設定するものです。

英数字が含まれる場合は，その部分の［スタイル］を［太字］にしてください。

**3.2.4**　著者名

著者氏名は姓と名の間を全角1字分空けます。共著の場合は各著者の間を全角3字分空けます。1行に収まりきらない場合は著者名が行をまたがないように改行します。

この部分には［著者名**KULR**］スタイルを適用してください。これは，フォントの［サイズ］を［13 pt］にし，また，その段落の［配置］を［中央揃え］，［行間］を［固定値］［20 pt］に設定するものです。フォントは本文と同様です。

KULRは匿名査読制のため，初稿投稿段階では無記名とします。

**3.2.5**　要旨

研究論文・研究ノート・書評論文の場合は，本文と同じ言語で要旨（400字以内）を付ける必要があります。書評の場合は不要です。

この部分には［要旨**KULR**］スタイルを適用してください。これは，フォントの［サイズ］を［10 pt］，［行間］を［固定値］［15 pt］，［インデント］を左右とも［3 字］に設定するものです。フォントは本文と同様です。

要旨部分の始めにはゴシック体（［HGゴシックE］等）で【要旨】と記入してください。

**3.2.6**　キーワード

要旨と同様，研究論文・研究ノート・書評論文にはキーワードを付ける必要があります。内容を簡潔に表す語句を3乃至5個，各語句間に全角1字のスペースを入れて記入してください。

この部分には［キーワード**KULR**］スタイルを適用してください。これは，フォントの［サイズ］を［10 pt］，［行間］を［固定値］［15 pt］，［段落前］［6 pt］，［インデント］を左右とも［3 字］に設定するものです。フォントは本文と同様です。

キーワードの前にゴシック体で【キーワード】と記入してください。なお，キーワードは行をまたいでも途中で改行しません。

**3.3**　見出し

**3.3.1**　節見出し

最上位の見出しです。節番号は1, 2, 3, ...と付けます。節番号とその節の見出し名の間には全角1字のスペースを入れてください。

この部分には［見出し１**KULR**］スタイルを適用してください。これは，［日本語用のフォント］を［HGゴシックE］，［英数字用のフォント］を［Times New Roman］，［サイズ］を［13 pt］にし，また，その段落の［行間］を［固定値］［19 pt］，［段落後］［12 pt］に設定するものです。

見出し番号等，英数字の部分は，手動でその［スタイル］を［太字］にする必要があります。

**3.3.2**　小節見出し

節見出しに次ぐ見出しです。小節番号は1.1, 1.2, 1.3, ..., 2.1, 2.2, 2.3, ...と付けます。番号と見出しの間には全角1字のスペースを入れてください。

この部分には［見出し２**KULR**］スタイルを適用してください。これは，［日本語用のフォント］を［HGゴシックE］，［英数字用のフォント］を［Times New Roman］にするものです。サイズ等は本文と同様です。

見出し番号等，英数字の部分は，手動でその［スタイル］を［太字］にする必要があります。

**3.3.3**　小々節見出し

小節見出しに次ぐ見出しです。小々節番号は1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, ..., 1.2.1, 1.2.2, 1.2.3, ...と付けます。番号と見出しの間には全角1字のスペースを入れてください。

この部分には［見出し３**KULR**］スタイルを適用してください。これは，［日本語用のフォント］を［HGゴシックE］，［英数字用のフォント］を［Times New Roman］にするものです。サイズ等は本文と同様です。

見出し番号等，英数字の部分は，手動でその［スタイル］を［太字］にする必要があります。

**3.4**　脚注

脚注は各ページの末尾に入れます。

この部分には［脚注**KULR**］スタイルを適用してください。これは，フォントの［サイズ］を［10 pt］にし，また，その段落の［配置］を［両端揃え］に，［ぶら下げ］幅を［1 字］にするものです。

脚注が複数の段落になる場合は，2段落目以降は［インデントと行間隔］タブで［左］インデントを［1 字］，最初の行の［字下げ］幅を［1 字］に設定してください。

科研費補助金等の助成を受けた旨を記載する場合や，謝辞を述べる場合は，要旨の末尾に脚注を附して記述してください。その場合の脚注記号は半角アステリスク（\*）とします（［脚注と文末脚注］ダイアログボックスの［任意の脚注記号］欄に［\*］を入力し，［挿入］をクリックします）。

その他の脚注は半角アラビア数字で通し番号を付します。

**4**　英文要旨

本文とは異なる言語（本文が日本語の場合は原則として英語）で1ページ以内の要旨を付けます。

このページのページレイアウト・フォントサイズ等は，英文原稿のテンプレートに準じます。ページはじめに2行の空白行を入れ，次の行に論文等のタイトル（表題）を記入します。副題がある場合は，表題の後に “ : ”（コロン）を入れて続けます。

その下を2行空けた後，太字で**Abstract**と記入し，次の行から要旨本文を始めます。

参考文献

参考文献の書き方は，『京都大学言語学研究』の次号原稿募集ページの「参考文献指針」を参考にしてください。

1. \* 科研費補助金等の助成を受けた旨の記載や謝辞はこの位置に挿入します。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 以下では（Windows用の）Word 2007-2013に準じた説明を行っています。Word for Macとは異なる部分があります。 [↑](#footnote-ref-2)
3. このとき，［字送り］は［11 pt］になります。 [↑](#footnote-ref-3)
4. このとき，［行送り］は［19.3 pt］になります。 [↑](#footnote-ref-4)
5. ［標準KULR］スタイルでは明朝体フォントとして［MS 明朝］を，Times系フォントとして［Times New Roman］を使用していますが，その他の明朝体・Times系フォントを使用してもかまいません。ただし和文フォントは等幅フォントを使用することとし，プロポーショナルフォントは使用しないでください（以下，見出し等のフォントに関しても同様に，MS 明朝やMS ゴシック以外の明朝体・ゴシック体フォントを使用してもかまいません）。 [↑](#footnote-ref-5)
6. KULRは匿名査読制のため，初稿投稿段階では無記名とします。 [↑](#footnote-ref-6)